



# 七松小学校 学校だより

令和2年度

10月号

尼崎市立七松小学校

校長 江上佳宏

## 地域の子どもを育てる教職員も地域の財産！

～教職員が心身ともに健康で子どもと向き合う時間の確保に向けて～

平成31年1月、中央教育審議会（文部科学大臣の諮問機関）の答申で、「子どものためであればどんな長時間勤務も良しとする」という働き方は、教師という職の崇高な使命感から生まれるものであるが、その中で教師が疲弊していくのであれば、それは「子どものため」にはならないものであると述べられています。近年、学校現場を取り巻く状況が大きく変化する中、教職員の職務は多岐にわたり、その時間的・精神的負担が増大し、全国的な課題としてその対応が求められています。

兵庫県教育委員会では、「教職員の勤務時間適正化推進プラン」に基づき、学校や地域の実態に応じて取組を進めてきました。

本校におきましても、教職員の勤務時間適正化推進プランに基づき、子どもと向き合う時間の確保とワーク・ライフバランスの実現に向け、以下の取り組みを進めていますので、ご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

★教職員の勤務時間は8：15～16：45迄となっています。

### 1 「定時退勤日」の完全実施

「定時退勤日」は、毎週月曜日に設定しています。遅くとも、18時には退勤するようにしています。出張のある日は、原則出張後直接帰宅します。

### 2 ノー会議デーの週1回以上の完全実施

放課後に会議をしない日を週1回以上（原則木曜日）設定し、放課後指導、授業準備や事務処理等を行います。

### 3 「勤務の効率化」を図っています。

精神的なゆとりを持って、教育活動に取り組めるよう、仕事を効率化し、労働時間を縮減しています。

- ・仕事を一人で抱え込まず、チーム七松として、組織的に取り組んでいます。
- ・会議は、資料を事前に配付し、予め目を通す。司会者は復唱しない等1時間程度で終わるよう効率化しています。

### 4 組織的な推進体制による教職員の意識改革を図っています。

- ・遅くまで毎日残っている教師がよい教師という意識を払拭し、緊急対応や行事の準備等、本当に必要な業務が発生しない限り、長時間の残業を防ぐため、勤務における協働と効率化を推進しています。
- ・学習指導要領では、子どもの「主体的・対話的で深い学び」の実現が謳われています。教職員自らが、主体的に職務に取り組み、「本気！」「前向き！」「全員参加！」を合い言葉に、職務の在り方を工夫し、教育力の維持向上を図りたいと考えています。

教職員が心身ともに健康で、子どもと向き合う時間がしっかり確保され、人間的なふれあいを通して心の絆を深め、教育活動の充実を図ります。

教職員は、将来の社会を担う子どもたちの教育に従事する地域の財産と考えます。

保護者の皆様、地域の皆様には、趣旨をご理解いただきますようよろしくお願いいたします。